

卒業生講演会（1年）

12月13日（火）、各方面で活躍中の本校卒業生の方4名をお招きして、1年生に向けた進路講演会を実施しました。各分野のお仕事の要点やどのような思いでそのお仕事を続けてこられたかなど、後輩たちに向けて熱のこもったお話しをいただきました。

毎年、城北会の事務局にご紹介いただいて素晴らしい方々をお招きしています。生徒からも活発な質問が出て、とても有意義な会になりました。



市川雅士氏（平成10年卒）

一橋大学法学部、東京大学法科大学院を経て弁護士として活躍。法廷で被告人の弁護をするというようなイメージとは違う弁護士の仕事について話していただきました。国際的なところでのトラブルも増えており、外国語の習得に苦労されたそうです。



小西洋之氏（昭和62年卒）

群馬大学医学部を終了後、東京女子医大等での研修医を経て現在、早稲田クリニックの院長。本校の校医でもあり、地域の医療ネットワークの構築に取り組んでおられます。高齢化が進む中で在宅医療の可能性を探る必要があると話されました。



西郷正道氏（昭和50年卒）

筑波大学で生物学を専攻。農林水産省に入省し、現在は技術総括審議官。公務員の仕事は、「民間にできないことを組織的にやること」と話されました。海外勤務や国際会議等も数多く経験し、幅広く活躍されています。

鷺谷いづみ氏（昭和43年卒）

東京大学で生物学を研究し理学博士となる。筑波大学を経て、東京大学の教授を長く勤められました。退官後、現在は中央大学教授。生物多様性と自然再生の研究に継続的に取り組まれています。2008年、環境保全功労者として環境大臣表彰を受けられました。

